

令和6年度 八郎潟町教育委員会の点検評価

令和7年9月9日(火)

八郎潟町教育委員会は、開かれた教育行政の実現に向けて、次のとおり令和6年度教育委員会評価をまとめ、令和7年9月町議会定例会へ提出します。

教育委員会評価の概要

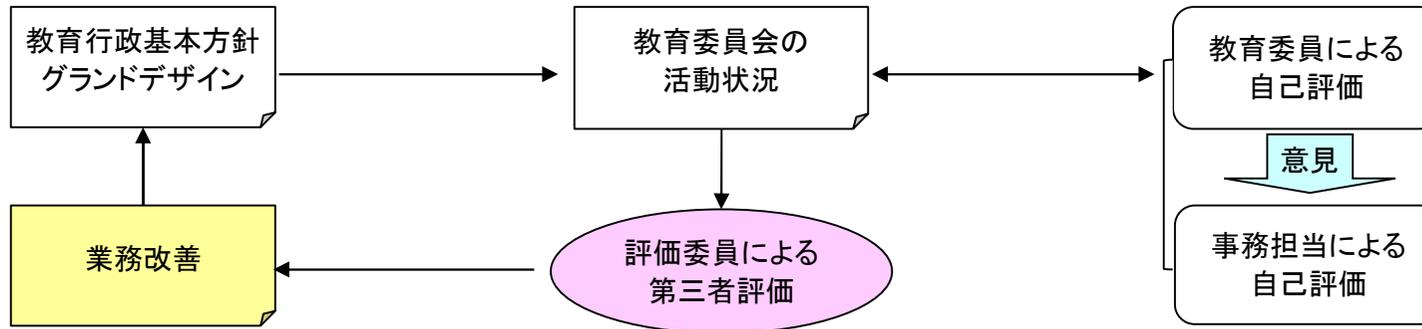
1 法的根拠・・・地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成20年4月施行）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 八郎潟町における教育委員会評価



3 評価計画

3月	（自己評価の集計、まとめ）【教育委員及び事務担当の自己評価は2月中に実施】 ※達成度の評価基準 A：よく達成できた B：達成できた C：達成できなかった
4月	第1回委員会（概要説明、評価方法の説明）
6月	第2回委員会（教育委員会活動及びグランドデザイン重点施策についての評価）
7月	第3回委員会（評価結果の確認）
9月	評価結果を9月議会へ提出
10月	評価結果の公表（ホームページで）

◆教育委員会

令和6年度教育行政基本方針 「ふるさと教育で郷土愛豊かなまちづくり」
 主体的・対話的で深い学びで、生きる力に必要な「知・徳・体」と「郷土を愛する心」を培って、住みよい町づくりに貢献する

事業名	事業内容	教育委員自己評価（達成度は A B C の3段階）		第三者評価(案)
		達成度	説明・考察・課題等	
総合教育会議	教育行政に係る重点的に講ずべき施策等について町長部局と協議を行う	A	教育や施設に関する課題について町長と直接意見交換が出来ている。定例会での課題と提言が実現するなど、会議は機能している。すぐには実現できない課題等は根気強く提言していきたい。	行政のトップと直接、意見交換や情報共有ができることは大切である。課題についても前向きに取り組んでいる。
教育委員会の年間活動計画	定例会及び臨時会を開催する（事務局との連携及び運営上の工夫等を含む）	A	事前に議案の提示や資料の配布があり、準備して十分な話し合いに臨むことができている。町広報誌で定例会の公開日時が町民に周知されているが、傍聴する町民がいないのが現状である。	事前準備を含め会議に向けた流れがスムーズであり、効率的な話し合いがなされている。会議内容の情報提供について、更なる工夫が望まれる。
	教育行政の運営に関する一般方針を定める	A	点検評価の結果を踏まえながら国の施策やランドデザインに沿った方針が示されている。	評価システムを活用し、前年度の評価を踏まえて方針を定めているのは適切である。広報等による周知にも期待したい。
	教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出る	B	意見や疑問、不明な点を協議し、納得できるものとなっている。	委員会として納得できる協議になっていることは評価できる。今後も改善策の検討を続けてほしい。
	教育委員会規則の制定及び改廃を行う	B	現状に即した制度設計と改廃が行われている。	国や県の動向や、教育現場の状況に即した規則になっており、問題ない。
	各種委員会委員の任命及び委嘱を行う	A	経験や専門性を有した方々が任命・委嘱され、その任を果たしている。	委嘱された委員が十分に任を果たしているのは評価できる。
	教育委員研修を行う	A	東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会に参加し、国の教育施策や他町村の取り組みの講演などから、有意義な研鑽を積むことができた。	概ね充実した研修になっているようだ。研修内容を教育関係者に広めることや、研修成果を教育施策に反映することにも期待する。

	<p>学校訪問等を行う (計画訪問、指導主事訪問、 授業参観、部活動・スポーツ 少年団訪問、施設訪問など)</p>	<p>B</p>	<p>学校計画訪問や行事に参加し、園児や児童生徒の元気で逞しく成長している姿を見ることができている。また、改修後のB&Gプールの視察を行うことができた。 部活動・スポーツ少年団訪問等の活動は今後の課題である。</p>	<p>教育現場を見たり、教員や保護者の声を聴いたりする機会は大切である。今後も多様な方法で教育の現状を把握し、教育施策の検討に生かしてほしい。</p>
--	--	----------	---	---

◆学校教育 1 確かな学力(知)を育む 2 豊かな人間性(徳)を培う 3 健康の維持と体力(体)の向上を図る
4 実践力を育てる

事業名	事業内容	事務担当自己評価（達成度は A B C の3段階）		第三者評価
		達成度	説明・考察・課題等	
八郎潟町学校評価システムを活用した学校評価の実践	学校教育の重点事項（知・徳・体に関する共通課題）について評価を行う	A	評価システムに町の学校教育の重点を盛り込み、子供の実態に応じた目標を学校・園で設定して自己評価している。小学校と中学校においては、学校運営協議会委員から学校評価をしていただき、次年度の学校運営に活かしている。	第三者評価も生かした評価の実践が定着し、学校経営に生かされていることはよい。
こども園・小学校・中学校の連携	こども園と小学校の交流事業及び小学校と中学校の連携教育を推進する	A	こども園と小学校では、園児と児童の交流活動のほかに、架け橋カリキュラム作成に係る授業・保育参観や合同会議を5回実施し、相互理解を深めることができた。小学校と中学校においては、乗り入れ授業や合同あいさつ運動等を実施し、併設校における接続の在り方に関する研究を継続している。	連携事業は工夫が施され、効果的に進められている。今後も研究を継続し、よりよい方向に進むよう期待する。
学校支援サポーターの配置（小6名、中1名）	支援を要する子供の学習面及び生活面を個別にサポートする	A	支援を要する児童生徒への対応並びに教育の充実のため、会計年度任用職員を小学校に6名、中学校に1名配置し、教育支援委員会からの要望に添うようきめ細やかな支援を継続的に進めている。	十分な数の支援員が配置され、効果的に活用されている。今後も継続配置を望む。
外国語科及び外国語活動サポート事業	小学校新学習指導要領に示された5・6年生外国語科と3・4年生外国語活動をサポートする	A	英語活動サポーター2名を配置し、担任教師とTT指導を実践しており、学習指導方法を工夫・改善することで、児童のコミュニケーション能力が高まるなど、成果が見えている。	児童個々の学びに役立っているようなので、今後も継続を期待する。
外国語指導助手	英語力向上のため、外国人を採用して英語学習を進める 地域の人材を活用し、子供たちと密着した学習活動を展開する	A	15年目となった英語指導助手は、毎年熱心に指導方法や教材研究をしており、職務に取り組む姿勢が非常に優れている。また、地域活動への取組も積極的で、児童生徒に限らず保護者とのコミュニケーションもよくとられている。	外国語指導助手が常駐している効果は大きい。今後も可能な限りこの事業を継続してほしい。
メール配信事業	状況に応じて必要な情報を個別又は一斉に保護者及び教職員に速やかに連絡する態勢を整える	B	平成24年度から導入している本事業は、ほぼ全ての世帯が登録しており、緊急時に学校から配信される情報は、速やかに保護者に伝えられている。 なお、メール配信された情報（中体連結果等）に度々誤りが見られたことから、内容を十分精査してから発信されるよう、注意喚起に努めていく。	今の社会には必要不可欠な事業である。情報の取り扱いに十分配慮し、精査しながら継続してほしい。
学校給食費助成事業	町内に住所を有する児童生徒の保護者を対象に、教育の充実及び子育て支援を目的として、給食費を助成する	A	平成24年度から町内在住の児童生徒の保護者に対して助成を行っている。学校給食費の全額を助成することで、保護者の経済的負担を軽減している。 昨今の急激な物価上昇への対応に引き続き配慮を要す。	物価高騰の折、教育の機会均等の充実と子育て支援の一環として是非継続してほしい。

<p>スクールバス助成事業</p>	<p>遠距離通学者にスクールバスを提供するとともに、教育の充実及び子育て支援を目的として通学バス利用に係る経費を助成する</p>	<p>B</p>	<p>平成27年度からバス定期の全額助成により保護者の経済的負担を軽減しており、現在は、マイタウンバスと町所有バスの両方を通学バスに利用している。 小学生のバス利用を優先するために中学生への助成等を休止している。中学生のバス通学再開を要望する声もあがっているが、現時点ではスクールバスを対象児童生徒全員を乗せることができないことから再開しておらずBとしている。</p>	<p>現状を鑑みると必要な事業であり、実情に合わせた助成を希望する。できるなら中学生も対象としてほしい。</p>
<p>4歳児健康相談</p>	<p>子供の成長過程を確認し、就学に向けて適切な対応を図ることを目的として、健康福祉課と協力して健康相談を実施する</p>	<p>A</p>	<p>町内在住の4歳児の親子が、発達検査をしたりフッ素洗口や子育ての講話を聴いたりする良い機会となっている。また、個々の発達課題について公認心理師からアドバイスをもらうことで、子育ての不安軽減につながっている。事業終了後は教育アドバイザーが園訪問を行い、健康相談で気になった子どもを中心に保育参観を行い、発達段階における子どもの心理や適切な関わり方について助言をいただいている。</p>	<p>子育てをしている保護者に対するきめ細やかな対応が、不安解消に役立っている。今後も継続をお願いしたい。</p>
<p>安全・安心フォーラム（八P連）</p>	<p>安全・安心な町づくりを目指した取組を推進するとともに、通学路の安全に関する課題を検証する</p>	<p>B</p>	<p>八P連主催の安全・安心フォーラムは、「インターネットの健全利用について 今考えたいこと」と題して、県庁出前講座を活用した講演会を小学校PTA及び授業参観日に併せて開催したが、園や中学生の保護者、地域住民の参加が少なかった。 このほか、保護者からアンケートを取った町内危険箇所について改善要望書を町に提出し、夏季休業中に町当局・警察・八P連の3者で改善について検証し、安全安心な教育環境の整備を推進している。</p>	<p>児童生徒の安全・安心につながる事業として、危険箇所点検と併せて工夫しながら継続していく必要がある。</p>
<p>小中学生のフッ化物洗口事業</p>	<p>子供たちの虫歯を予防し、健康な歯を維持するため、学校歯科医師の指導・支援のもとに実施する</p>	<p>B</p>	<p>事業の実施にあたっては保護者から同意書を提出していただき実施している。（実施率：小学校95%、中学校94%）同意を得られない保護者に対しては、効果や安全性について不安や誤解が解消されるように情報提供をし、児童生徒の健康な歯の維持に努めたい。</p>	<p>ほとんどの児童生徒が実施し、ほぼ定着しているが、その効果を示して更なる普及を図ってほしい。一方、デメリットについても説明が必要である。</p>
<p>体育館用スポットエアコン購入事業</p>	<p>猛暑下でも授業や集会活動及び部活動を安全に行うため、学校体育館にスポットエアコンを配備する</p>	<p>B</p>	<p>体育館にスポットエアコンを2台設置し、小・中学校の夏季における活動環境の改善を図った。 今年度は試験的な導入であったため2台のみの設置であったが、一定の効果が見られたため、今後設置台数を増やし、さらなる環境改善が可能と思われる。 体育館にスポットエアコン2台の設置では効果が限定的であることからBとしている。</p>	<p>熱中症対策として早急な対応をし、一定の効果が見られたことは評価できる。更なる改善に向けて、今後も現場の声を大事にしてほしい。</p>
<p>八郎潟町立学校電子黒板購入事業</p>	<p>ICT教育に対応するため、令和5年度に配備した電子黒板機能搭載のプロジェクトアに加えて、電子黒板2台を追加配備する</p>	<p>A</p>	<p>令和5年に整備した電子黒板機能搭載プロジェクトア4台に加え、今年度、電子黒板を新たに2台調達し、小・中学校のICT教育環境の充実を図った。 これにより、各階に2台ずつ整備できたため、授業等での活用が増えた。今後もさらに活躍の機会が増していくものと思われる。</p>	<p>新たな機器の導入が日常の教育実践の充実に役立つよう期待する。今後も現場の声を反映させた教育環境整備に努めてほしい。</p>

<p>通学用バックパック 配布事業</p>	<p>児童の身体的負担及び保護者の経済的負担軽減のため、軽量で耐久性のあるカバンを新入学児童に支給する</p>	<p>A</p>	<p>令和7年度に八郎潟小学校に入学する新1年生を対象として、軽量で耐久性の高いバックパックを支給した。 低学年の児童の身体に相当の負担を及ぼすであろう重いランドセルに代わり、軽量のカバンを使用することができる環境を整えるとともに、高額なランドセルを購入する必要がない環境を整えることで、保護者の経済的負担を軽減できた。</p>	<p>保護者の経済的負担や児童の身体的負担の軽減に結び付いており、よい事業である。今後も継続してほしい。</p>
---------------------------	---	----------	--	--

◆社会教育

- 1 学習機会の充実 2 家庭教育への支援 3 芸術文化の振興 4 文化財の保護と継承
5 町立図書館の充実

事業名	事業内容	事務担当自己評価（達成度は A B C の3段階）		第三者評価
		達成度	説明・考察・課題等	
放課後子ども教室	放課後や長期休業中に小学校の教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、児童に勉強やスポーツ活動の場を提供する	A	教員免許を有している指導員2名を配置し、放課後に学習会を実施している（登録者62名）。また、夏季休業中には漢字・算数検定学習会を行い、児童25名が参加した。 秋田音頭伝承サークル（登録者23名）は、後継者育成の一端も担っている。今年度より指導者が替わり、昨年度より1名増員の男女3名の体制で実施した。 なお、ヨット教室は社会体育と連携した事業で行っている。	学習機会の充実と積極的な支援を可能にする環境が整っており、児童の居場所づくりにも役立っている。後継者育成のための取組も価値がある。いずれも継続してほしい。
やすらぎ交流会	高齢者が生きがいをもち、仲間と楽しい生活を送れるように、講演会、移動学習、交流会等の事業を開催する	A	5月から2月までの期間、学習会を毎月1回開催している。 今年度は移動学習の回数も増え、あきた芸術村や赤れんが館等で実施した。 会員数は昨年度よりも1名増の32名。今後も新規会員の勧誘に努めていきたい。	内容や実施方法に工夫が見られ、会員も増加している。今後に期待がもてる事業である。
観劇の集い	優れた舞台芸術に触れる機会を提供し、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う	A	あきた芸術村「わらび座」の観劇を10月31日に開催したところ、昨年度より1名多い15名が参加した。観劇後、出演俳優と記念撮影をしたりと有意義な時間を過ごせた。今後も継続的に事業を行いたい。	個々人では行けない町民への支援として意義ある事業である。参加者が増えるよう町民への周知の工夫をお願いしたい。
夏休み さきがけ子ども新聞教室	新聞の特徴や読み方を学び、誕生日記念号外を作成することで、読解力の向上を目指す	A	8月6日（火）、はちパルにおいて19組40名（子供21名保護者19名）が参加した。新聞を身近に感じながら慣れ親しむとともに、親子のコミュニケーションもとれて好評であった。	児童と保護者が共に新聞に親しむ貴重な機会である。継続してほしい。
成人式	成人したことを壽ぎ、その前途を祝福するとともに、一人前の大人としての自覚を促す機会を提供する	A	8月15日（木）、改善センターにおいて40名が参加して行われた。式典終了後、「これからの時代を生き抜く力と社会で必要とされる力」と題してセイルオンジャパン代表奥真由美氏による記念講演が行われた。学生や社会人など、それぞれの立場を認識し、決意を新たにする機会となった。	人生の節目に故郷を意識することは、意義あることである。今後も成人者の自主的な企画運営を支援し、郷土愛を育ててほしい。
第40回子ども盆踊り大会	県指定無形民俗文化財「一日市盆踊り」への参加を促進し、八郎潟町民としての自覚を育み、後継者の育成を図る	A	昨年度と同様、子ども会に限らず、スポ少や有志などにも参加要件の枠を広げて募集したところ、7団体（子ども会5団体スポ少2団体）69名の参加があり、昨年より増加した。事前の活動として、小学校で盆踊り講習会を行っている。今後も一日市盆踊りを継承する機会を大切にしていきたい。	地域文化の後継者を育成する上で大事な事業である。今後も多くの子どもたちの参加を期待する。

<p>秋田県青少年劇場 (R6は人形劇)</p>	<p>小・中学生向けの優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供し、豊かな情操の涵養を図る(演劇・音楽公演からいずれかを選択して開催する)</p>	<p>A</p>	<p>県・町・法人の共催事業で、全校児童生徒を対象に、演劇「ルドルフとイッパイアッテナ」を学校体育館で開催した。 児童生徒の感想から、優れた芸術鑑賞の機会は子どもたちの情操教育につながることを実感した。今後も学校と協議の上、提供できるように努めていきたい。</p>	<p>舞台芸術の鑑賞は、情操教育の一環として意義がある。毎年こうした環境を整えていることに感謝したい。</p>
<p>趣味講座</p>	<p>個人の要望、社会の要請に応じた各種趣味講座を開催する</p>	<p>A</p>	<p>町内外の多様な知識や技術を持っている方々に講師を依頼し、町民のニーズに応えた講座を開催できるように心掛けている。 ヨガ教室は参加者が17名で、9月～1月まで10回開催した。親子ミニ門松アレンジメント教室は、12月28日に親子11組、一般4名、計26名の参加があった。 今後も、多くの方が参加できる講座の開催を推進していきたい。</p>	<p>多岐にわたる講座を開設できていることは、人生の新たな可能性を提供する上でも意義があり、評価できる。今後もアンケート調査等により町民の要望を把握しながら取り組んでほしい。</p>
<p>歴史文化財探訪</p>	<p>町内外の歴史や文化に触れる機会を提供し、郷土を愛する態度や豊かな心の涵養に寄与する</p>	<p>A</p>	<p>5月26日に公民館・図書館連携事業「こらぼ講座」のひとつとして「バスでゆくまちぶらり：湖畔の魚供養塔～八郎信仰との関わり～」を開催した。町内外から参加した25名は、講師の天野荘平氏(潟船保存会)より魚供養塔についての座学を受け、その後、町民バスで2時間ほどかけて八郎湖周辺(八郎潟町、井川町、五城目町)の14基の魚供養塔を巡り、天野氏の解説により、身近な地元の魅力を再発見しながら教養も深めたようであった。 天野氏によると八郎湖周辺は全国的に見ても魚供養塔の多い地域とのことだが、地元でも知っている人は多くなく、今事業が地元の貴重な文化財としての魚供養塔の再評価や保護につながる機会となった。</p>	<p>テーマ設定の目的付け所がよく、新たな知見を得られるよい機会になっているので、今後も工夫して継続してほしい。事業内容のアーカイブについても検討してほしい。</p>
<p>芸術文化祭</p>	<p>芸術文化に触れる機会を提供し、町民の創造性の高揚と文化的風土づくりを進め、文化の振興を図る</p>	<p>A</p>	<p>芸術文化協会員と生涯学習奨励員の協力のもと、作品展示、カラオケ発表会、舞台発表会を開催した。カラオケ発表会には20名、舞台発表会には10団体98名の方々から出演していただき、来場者からの声援の中、大いに賑わいを見せていた。また、作品展示には456名の方々から出展をいただくことができた。 なお、来場者は展示部門580名、舞台部門400名(カラオケ170名、舞台発表230名)で延べ980名であった。</p>	<p>芸文協会員が相互に成果を披露し合う年に一度の場であり、関係者の協力を得て盛況に実施できている。</p>
<p>合同厄払還暦祝</p>	<p>厄払いと還暦祝を合同で開催し、人生の節目を祝う</p>	<p>A</p>	<p>2月1日(土)、改善センターにおいて県内外在住者を問わず開催した。総勢71名の参加者があり、節目の年に旧友が一堂に会して神事を執り行った。</p>	<p>人生の節目の事業であり、対象者にとって意義ある機会になっている。実施時期については、引き続き検討をお願いしたい。</p>

<p>学校支援事業</p>	<p>小中学生に対して、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整備する</p>	<p>A</p>	<p>学校支援ボランティアとして、小学校は正課クラブ（ふるさと先生）、中学校は総合的な学習の時間に、地域住民が教員と一緒に、より専門的な知識をもって指導している。 学校支援ボランティアも恒例になりつつあるが、地域学校協働活動推進員によるコーディネート活動が展開されており、今後は総合学習の見直しも検討しつつより良い事業の推進に努める。</p>	<p>地域の人材を活用することにより児童生徒にとって貴重で効果的な学習となっている。今後もコーディネーターと連携して充実した学習を進めてほしい。</p>
<p>図書貸出事業</p>	<p>新刊図書の購入、県立図書館との相互貸借事業と図書整理を行い、町民の読書意欲を促す</p>	<p>A</p>	<p>図書貸出事業のみならず、郷土資料の収集、図書館単独事業、他部署との連携事業、学校図書館支援活動、図書館広報活動などの地域に積極的に出ていく事業企画によって図書館の存在認知が広まり、町民を始めとする地域住民の皆様からたくさんの利用や事業参加をいただいている。 公共図書館に対する地域住民のニーズは、社会情勢としても年々高まってきており、今後も質を落とさずに、読書意欲を促す多面的な事業経営が必要となる。</p>	<p>年々活動が活発化しており、町民だけでなく町外の方にも存在認知が広がっている。今後も更なる発展に期待する。</p>
<p>後継者育成事業</p>	<p>県指定無形民俗文化財「願人踊」「一日市盆踊り」と地域の伝統芸能「秋田音頭」の後継者育成を支援する</p>	<p>A</p>	<p>一日市郷土芸術研究会は、願人踊、一日市盆踊り、秋田音頭などの保存や伝承のため活動しており、その中で町の後継者育成事業において、児童生徒への指導にもご尽力いただいている。少子化という状況で、伝統芸能を後世に継承していくことは難しいことではあるが、同研究会が少しでも活動しやすいように、運営費の一部として補助金を交付している。</p>	<p>児童生徒数が減少していく中、後継者育成事業はなくてはならないものである。指導者のご労苦に敬意を表するとともに、今後の行政からの支援や働きかけに期待する。</p>
<p>文化財保存事業</p>	<p>町指定文化財「小池板碑群」等の管理及び八郎潟町地域史料館の管理・運営に関する業務委託</p>	<p>A</p>	<p>町指定文化財である小池板碑群保護施設の管理を地域住民に依頼している。 浦城跡登山口駐車場に設置している簡易トイレの管理を浦城の歴史を伝える会に依頼している。また、地域史料館の維持管理については、地域史料館運営委員会と指定管理者制度に基づき委託契約している。 令和6年度は老朽化していた登山口駐車場の管理トイレを更新した。また、地域史料館内へ展示ケースを新たに7台設置をし、展示内容を刷新した。</p>	<p>事業に携わっている関係者のご労苦に敬意を表する。今後も必要な予算を確保しながら、貴重な文化財の保管と維持管理に努めていただきたい。</p>

全町スポーツ大会	ビーチバレーボール大会	A	<p>昨年は、一般の部で8町内会の参加に対し、今年は、一般の部のみの開催で8町内会の参加であった。 大会を開催するにあたり、スポーツ推進委員の協力でスムーズに運営することができた。今後も参加町内会が増えるように努めていきたい。</p>	<p>町民の運動の機会を確保することは大切である。参加する町内が固定化されている傾向があるので、更なる呼びかけの工夫や事業の見直しを検討する必要がある。</p>
	家庭バレーボール大会	B	<p>参加した町内会は、昨年は7町内会だったのに対し、今年は、6町内会と減少した。 しかし、大会自体は、バレーボール協会やスポーツ推進委員の協力でスムーズに運営することができた。今後は、開催日数などの見直しを図りながら継続的に事業を進めたい。</p>	<p>複数日開催なので、チームの順位のほか個人賞があれば参加者の励みや話題づくりになるのではないかと。参加する町内が増えないのであれば、見直しが必要。</p>
	ラージボール卓球大会	A	<p>昨年は、7町内会9チーム参加に対し、今年は9町内会から11チームの参加だった。 大会を開催するにあたり、卓球協会やスポーツ推進委員の協力でスムーズに運営することができた。</p>	<p>参加者数が増えたことは評価できる。その要因を分析し、事業全体に生かしてほしい。</p>
	ディスコン大会	A	<p>昨年は12町内会の参加に対し、今年も12町内会の参加だった。大会を運営するにあたり、スポーツ推進委員の協力のもとスムーズな大会運営ができた。他の全町スポーツ大会よりも参加者が多く好評な大会であり、今後も参加町内会が増えるように努めていく。</p>	<p>今後も参加する町内が増えるよう効果的な呼びかけをお願いしたい。</p>
スポーツフェスティバル	全町民が各種スポーツやレクリエーションスポーツに触れる機会を提供する	A	<p>スポーツ協会主催のフェスティバルは、全町民を対象にレクリエーションや縄跳び大会を実施した。2種目以上の参加で景品をもらえる企画を行ったところ、幼児から一般まで多くの町民が参加し成功裏に終えることができた。 今後も多くの町民から参加してもらえるような企画運営に努めていきたい。</p>	<p>全町民が参加しやすいよう間口を広げて企画運営を工夫したことが成果につながったと思われる。更なる工夫に期待する。</p>
表彰式 スポーツ講演会	一年間のスポーツ大会の功績に対し、功労賞、特別賞、栄光賞、奨励賞を与え表彰する	A	<p>スポーツ協会主催の表彰式・スポーツ講演会を2月11日に実施した。 スポーツ講演会は、講師に北都銀行バドミントン部主将の永原和可那氏を迎えて実施した。</p>	<p>受賞者にとって公的な表彰は励みになるので、今後の存続を希望する。講師の人選も時宜を得たもので、適切であった。</p>
かけ足運動	町民の体力向上を図る	B	<p>今年度は上級300日以上12名、中級240日以上2名、初級180日以上0名で、参加人数も昨年度に比べて大きな変化はなかった。気軽に参加が出来ることを、もっと普及する必要がある。 町民の体力向上を図る上で今後も継続していきたい。</p>	<p>町民の健康増進に役立っているが、年齢層に偏りがあることや、朝のかけ足運動のみを対象としていることに疑問が残る。事業を見直し、より効果的な方法を模索してほしい。</p>

<p>総合型地域スポーツクラブの推進</p>	<p>6年度事業計画に基づいて活動する</p>	<p>B</p>	<p>総合型地域スポーツクラブの推進では、現在のところスポーツ協会と共催でスポーツフェスティバルなどの事業を進めている。 単位協会の既存活動に引き込むことやサークル活動、スポーツ教室等を事業として、幅広く周知を図って行きたい。</p>	<p>人口減少の中でそれぞれのスポーツ団体が存続できるよう、スポーツ協会と協力して仕組みづくりや事業計画の策定を進めてほしい。</p>
<p>オリンピック記念会館改修工事</p>	<p>老朽化が進んでいる内外装や屋根等の改修を行い、町民が安全に身体を動かせる場所の確保を図る</p>	<p>B</p>	<p>老朽化が進んでいる内外装や屋根、トレーニング機器等施設全体の改修を行ったほか、展示物に志田千陽選手の写真等を追加したり、展示スペースも1階から2階に移動をした。今後も地域の方々が集い、安全に身体を動かせる場所の確保に努めていきたい。（後期を翌年度に延長。展示関係以外の工事は終了したため、令和7年4月1日から施設を再オープンする。）工事が6年度中に完成出来ず7年度へ繰越したためB評価とした。</p>	<p>オリンピック開催の機会を捉えてリニューアルしたのはよかった。今後も有効な使い道の検討と利用しやすい環境づくりに取り組んでほしい。</p>